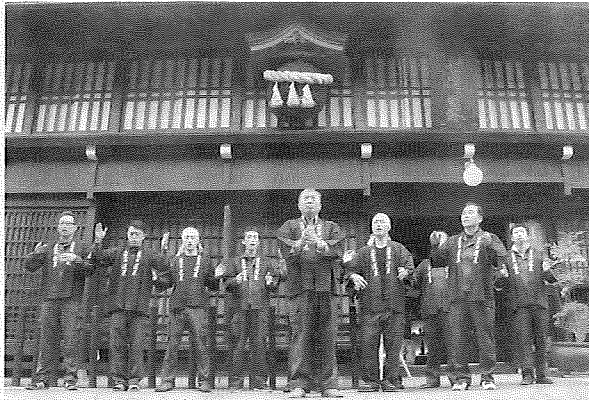


(1) (平成20年1月15日第三種郵便物認可)

今年も新酒が出来ました

渡辺酒造店で杉玉の掛け替え

古川町寺之町の渡辺酒造店(渡邊久憲社長)が一日、新酒が出来たことを知らせる杉玉(酒林)の掛け替え作業を行った。



気多若宮神社の天木眞宮司により酒蔵で神

い杉玉を、蔵人らが店の正面玄関上、約六

新しくなった杉玉の下で酒造り唄を披露する皆さん

事が執り行われた後、高山市の農家・中谷紀久雄さんが作った直径約八十センチ、重さ約七十キログラムの新しい杉玉が同

メートルにある酒林屋根まで運び上げ、昨年のもとの掛け替えた。また、通行人や観光客などへ新酒の振る舞いも行われた。今年も稲刈りの時期が荒れ模様の天候だったが、柔らかめで酒造りに適した米が採れたという。九月下旬から仕込みを開始。当初は気温が高めだったが、最近になつて例年ぐらいの気温に下がり、昨年と比べても遜色のない出来

の酒が仕上がった。「ブルーティーでや甘さのある、のどごしの良い酒になりました」と同店の岡田喜栄治社長(70)も披露された。渡辺社長(48)は「祝い事の宴席などで歌っていましたが、伝承していただきたいと考え、今回は皆さんにも聞いていただきました。若い人た

ちにも張り合いを持って覚えてほしいです」と話していた。来年四月下旬までに一升瓶換算で約六十万本を仕込む予定だといふ。初めに搾った酒は吟醸生原酒「蓬萊・新酒しぼりたて」として、一升瓶換算で約二万本を出荷する。同店や各酒販店などで購入できる。一・八リットル詰めが二千五百円(税込)。問い合わせは同店0577・733311へ。

